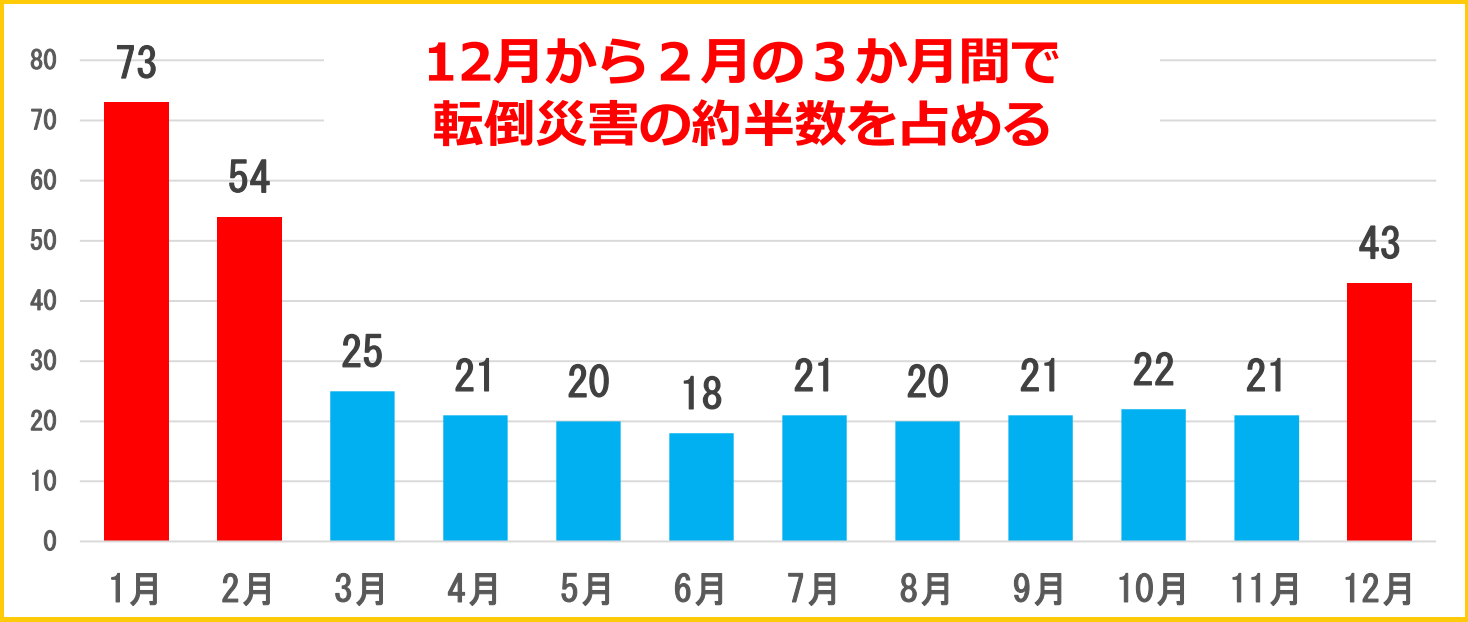
冬季転倒災害防止対策
強　化　期　間

岩手労働局では、冬季間における転倒災害を防止するため、
12月から２月までを「冬季転倒災害防止対策強化期間」と定め、
「いわて年末年始無災害運動」と連動し転倒災害防止に取り組みます。

職場から転倒災害をなくしましょう！
《12月～2月は冬季転倒災害防止対策強化期間です》

岩手労働局管内では**転倒**による労働災害が最も多く
全体の**約３割**を占めています
特に**12月から２月の冬季に多く発生**します

岩手労働局 過去10年平均の月別転倒災害発生状況



※ 過去10年平均：平成25年から令和４年の確定値

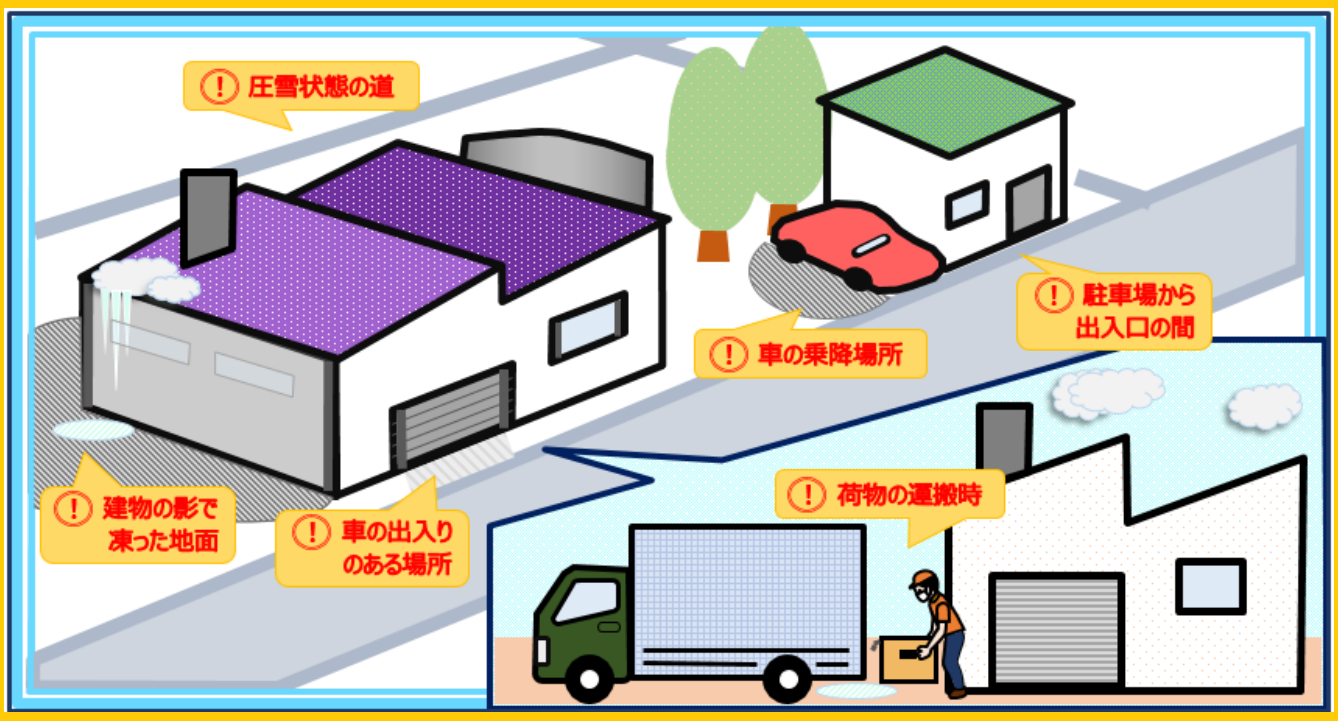
滑りにくい靴の着用

厚生労働省
岩手労働局
各労働基準監督署

清掃・除雪の励行

冬季特有の転倒災害を防止しよう！

★ 転倒危険マップを作成しましょう



★ 滑りにくい靴を履いて安全に歩行しましょう

ピン・金具付きの靴底

金属のピンや金具が靴底に備わっており、氷を引っかき、突き刺して滑りを防ぎます。
脱着可能な靴用アタッチメントタイプもあります。

【注意点】
カーペット等に金具やピンが引っかかってつまづいたり、タイル等の床で滑ってしまう危険があります。

深い溝のある靴底

グリップ力が強いため滑りにくくなっています。
溝が浅くなるとグリップ力が低下するので溝の点検も重要です。

【注意点】
溝が深くても靴底が固いと「つるつる路面」では滑りやすく、また、溝に雪が詰まると滑りやすくなります。

■ 靴の裏全体を路面につけて歩く

重心をやや前におき、できるだけ靴裏全体を路面につける気持ちで歩きましょう。「つるつる路面」では、小さな歩幅で靴裏全体をつけて歩く「すり足」のような歩き方も有効です。

■ 小さな歩幅でそろそろ歩く

滑りそうな道や凍った路面の上にうっすら雪が積もったところでは、歩幅を狭くしてそろそろ歩くようにしましょう。特に、交差点や横断歩道等の滑りやすい場所を歩くときにはお勧めです。

積雪・凍結による転倒災害の防止

- □ 安全委員会等における転倒災害防止に係る調査審議。
- □ 職場巡視等による転倒災害防止対策の実施（定着）状況の確認。
- □ 気象情報の活用によるリスク低減の実施。
- □ 通路、作業床の凍結等による危険防止の徹底。
- □ 防滑靴の着用や安全な歩き方の指導等。

資料に関するお問い合わせ先： 岩手労働局健康安全課
各労働基準監督署

職場のあんぜんサイト

（2023.12）